

探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業指定校（2年目）

令和4年度 大竹市立大竹中学校区 実践報告



大竹中学校



大竹小学校

大竹市立大竹中学校区

実践報告

大竹小・中学校について

1. 研究の概要
2. 大竹小・中学校の取組
3. 大竹小学校 授業の実際
4. 大竹中学校 授業の実際
5. 成果と課題



大竹小・中学校について



1. 研究の概要

教務部

- ① ICTの効果的な活用
- ② 帯タイムでの学力補充
- ③ 家庭学習の習慣化, 内容の充実
- ④ 読書習慣の充実

基礎学力が定着している子

探究的な学習に主体的に取り組む子

研究推進部

- ① 探究的な学習につながる授業づくり
- ② 「大竹授業スタイル」による授業改善
- ③ 基礎・基本の定着

地域貢献ができる子

- ① 無言清掃
- ② 挨拶
- ③ 奉仕活動

小中共通

学校教育目標 「みんなで伸びる」

校訓 「敬 愛」

研究主題

「本質的な問いにせまる課題を主体的に解決しようとする児童・生徒の育成」
 ~リフレクションを活用した生活科, 総合的な学習の時間の探究的な学びを通して~

自らの健康について考え実践できる子

- ① 体力の向上
- ② 食に関する指導
- ③ 生活習慣の定着

生徒指導部

保健体育部

《成果》

- ①活動を通して仲間と協働することで考えを深めることができたとする児童生徒が増えた。
- ②授業改善に取り組み、小中教職員で意識統一して児童生徒を育てる意識を高めた。
- ③思考ツールやリフレクションシート等の活用で、振り返ったことを次の学習活動につなげ、生かしていける場面が増えてきた。
- ④さまざまな場面でタブレット等を用いることで、効果的にICTを活用することができた。

《課題》

- ①ループブック評価を取り入れて進めたが、全体として十分に活用ができていない状況がある。
- ②学んだことを他の教科や生活場面でも応用、活用する力が十分とは言えない。
- ③児童生徒が社会に貢献、還元するところまでに高めていきたい。

I 研究の概要

II 大竹小・中学校の取組

III 小学校授業の実際

IV 中学校授業の実際

V 成果と課題

令和3年度 **思考力 判断力 表現力**

重点的に育成したい資質・能力

主体性

課題発見・解決能力

令和4年度 研究主題

本質的な問いにせまる課題を主体的に
解決しようとする児童・生徒の育成
～リフレクションを活用した生活科，総合的な学習の
時間の探究的な学びを通して～

小学校・中学校9年間を見通した 本質的な問い

大竹のまちに愛着をもち，大竹のまちを支える人になるためにはどうしたらよいか

研究推進部

探究的な学習に主体的に取り組む子

生活科
総合的な学習の時間

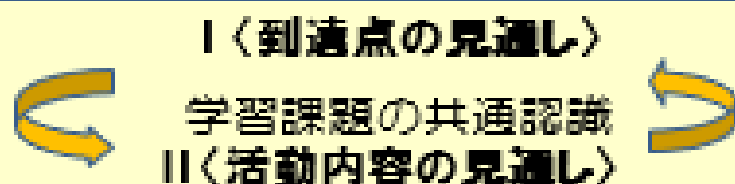
探究的な学習につながる授業づくり

授業展開や活動の工夫

思考ツールの活用

- 分かったこと、できるようになったこと
- 課題解決に向けて必要、次にしたいこと
- 他教科、他者等との関連

リフレクションの効果的な活用



ポイント

- ① 評価・分析
- ② 次に生かす
- ③ 他場面での活用

ルーブリック評価の活用

きらりリフレクション(取組の掲示・共有)

ICT 機器の効果的な活用

資質・能力系統表の改善・活用

理論研修

「本質的な問い」にせまる単元づくり

基礎・基本の定着

大竹授業スタイル

2. 大竹小・中学校の取組

小中合同校内研修

本物の探究とは

7月7日

授業研究(小)

・「5年総合」研究授業

8月25日

理論研修

・児童生徒が主体的に
学ぶ総合

9月22日

理論研修

・授業の評価と進め方

ルーブリック評価

10月6日

授業研究(小)

・「3年総合」研究授業



ファシリテーション

11月17日

授業研究(小)

・「1年生活科」研究授業

リフレクション

11月21日

授業研究(中)

・「1年総合」研究授業



I 研究の概要

II 大竹小・中学校の取組

III 小学校授業の実際

IV 中学校授業の実際

V 成果と課題

ICTの活用

友だちの発表を動画で見る



デジタル新聞を製作



発表ノートを使って



マインドマップ作成



パワーポイントを使って



校長先生の思いを聞く



大竹小中学校 育てたい資質・能力系統表

令和4年度 大竹小学校・中学校 育てたい資質・能力

資質・能力		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	中学校	
課題発見・解決能力	思考力・判断力・表現力	課題の設定 自分の生活や身の回りのことに興味をもち、関わる。	自分の生活や身の回りのことに興味をもち、関わる。	身の回りのことについて興味をもち、調べてみたいことを見つける。	身の回りのことに興味をもち、問題を見つけてみたいことを設定する。	問題を見つけ、見つけた問題の中から根拠や目的をもって、本質的な問いにつながる課題を設定する。	問題を見つけ、見つけた問題の中から根拠や目的をもって、本質的な問いにつながる課題を設定する。	実社会や実生活に広がっている複雑な問題の中から課題を設定し、自らの力で解決の方向を明らかにし、見直しをもって計画を立てる。	
	情報の収集	教師の援助を得て、身近なところから情報を集める。	教師の援助を得て、身近なところから情報を集める。	教師の援助を得て、どのような情報を集めればよいか分かり、情報を集める。	教師の援助を得て、課題や目的に応じて情報を集める。	自分なりの手段を選択し、課題や目的に応じて情報を収集する。	自分なりの手段を選択し、課題や目的に応じて情報を収集する。	情報収集の手段を意図的・計画的に用いたり、解決の過程や結果を見通したりして、多様で効果的な情報を収集する。	
	整理・分析	教師の援助を得て比べたり分けたりして対象をとらえ、自分なりの考えをもつ。	教師の援助を得て比べたり分けたりして対象をとらえ、自分なりの考えをもつ。	教師の援助を得て、集めた情報を比較したり分類したりして整理し、集めた情報から自分の考えをもつ。	情報を整理分析する方法を知り、比較したり分類したりして整理し、集めた情報から自分の考えをもつ。	集めた情報を分類したり関係付けたりして整理し、得られた情報から自分の考えや意見をもつ。	集めた情報を分類したり関係付けたりして整理し、得られた情報の意味を理解し、そこから自分の考えや意見をもつ。	収集した情報を取捨選択し、複数の情報を組み合わせて自分の考えや意見をもつ。	
	まとめ・表現	「みつけたよ」カードや、発表カードに書いたリクラスの人に伝えたりする。	教師の援助を得て、示された方法で調べたことをまとめ、表現する。	教師の援助を得て、示された方法で調べたことをまとめ、表現する。	教師の援助を得て、示された方法で調べたことをまとめ、表現する。	教師の援助を得て、示された方法で調べたことをまとめ、表現する。	適した方法を用いてまとめ、効果的に表現したり、発信したりする。	相手や目的に応じて工夫してまとめ、効果的に表現したり、発信したりする。	整理・分析した結果や自分の考えをまとめたり、他者に伝えたりすること、振り返ることによって理解を深める。
	振り返り	何が分かりできるようになったのか振り返り、生活に活かそうとする。	何が分かりできるようになったのか振り返り、生活に活かそうとする。	関連付けられた学びを、自分の生活にどう活かすか考えることができる。	関連付けられた学びを、自分の生活にどう活かすか考えることができる。	関連付けられた学びを、自分の生活や社会のためにどう活かすか考えることができる。	関連付けられた学びを、自分の生活や社会のためにどう活かすか考えることができる。	関連付けられた学びを、実社会や実生活にどのように貢献できるかを考え、見直すことができる。	
主体性	自立性	身の回りのもの・こと・人に関心をもち、関わる。	身の回りのもの・こと・人に自分から関わる。	課題解決に向けて身の回りのもの・こと・人に自分から働きかけしていく。	課題解決に向け、見直しをもって計画的に進める。	課題解決に向け見直しをもって計画的に進めたり、挑戦したりする。	課題解決に向け見直しをもって計画的に進めたり、工夫して挑戦したりする。	課題解決に向け自分の意思で計画的に取り組む。	
	自己理解	自分のできること、できるようになったことに気付く。生活に活かそうとする。	自分の良さ、可能性に気づき、次に向けて意欲を高める。	自分で設定した課題解決に向けて自分で考えた方法で取り組む。	自分の良さに気づき、課題解決に向けて取り組む。	自分の考えをもって、探究活動に向き合い、課題解決に向けて取り組む。	自分らしさを発揮して探究活動に向き合い、課題解決に向けて取り組む。	課題に対して、自分なりの解決策を見つけ、自分の特徴やよさを理解する。	
	他者理解	友だちのよさに気づいたり、友だちを認めたりする。	自分と異なる意見や考えがあることを知り、探究活動に取り組もうとする。	自分と異なる意見や考えがあることを知り、探究活動に取り組もうとする。	自分と異なる意見や考えを認めることができる。	異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に取り組む。	異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に取り組む。	異なる意見や他者の考えを受け入れながら、課題解決に取り組む。	
	協働性	自分のよさや友達のよさに気づいて活動する。	自分のよさや友達のよさに気づいて、共に活動する。	課題解決に向けて、友だちと協働して探究活動に取り組もうとする。	課題解決に向けて、友だちと協働して探究活動に取り組もうとする。	課題解決に向けて、他者と協働して探究活動に取り組む。	課題解決に向けて、他者と協働して探究活動に取り組む。	課題解決に向けて、他者と批評し合いながら、探究活動に取り組む。	
	将来展望・社会参画	自分と自分を支えてくれている人の存在に気づく。	自分と自分を支えてくれている人の存在に気づき、身近な人々や地域への愛着をもつ。	自分と地域とのつながりに気づき、地域の活動に興味・関心をもち、自分のできそうなことを見つける。	自分と地域とのつながりに気づき、地域の活動に興味・関心をもち、自分のできそうなことを見つける。	自分と地域の関わりを考えながら、共に笑顔で生きていけるような地域にしていこうという思いをもつ。	自分と地域の関わりを考えながら、ふるさと大竹の将来展望をもって、地域参画しようとする思いをもつ。	実社会や実生活との関わりを考えながら、ふるさと大竹へ貢献する。	

資質・能力		
2学年	3学年	4学年
自分の生活や身の回りのことに関心をもち、遠くまで調べようとする。	身の回りのことについて興味をもち、調べようとする。	身の回りのことに関心をもち、問題を見つけようとする。
教師の援助を得て、身近なところから情報を集める。	教師の援助を得て、どのような情報を集めればよいか分かり、情報を集める。	教師の援助を得て、課題や目的に応じて情報を集める。
教師の援助を得て比べたり分けたりして意見を述べ、自分なりの考えをもつ。	教師の援助を得て、集めた情報を比較したり分類したりして整理し、集めた情報から自分の考えをもつ。	情報を整理分析する方法を知り、比較したり分類したりして整理し、集めた情報から自分の考えをもつ。
教師の援助を得て、示された方法で調べたことをまとめ、表現する。	教師の援助を得て、示された方法で調べたことをまとめ、表現する。	教師の援助を得て、示された方法で調べたことをまとめ、表現する。
何が分かりできるようになったのか振り返り、生活に活かそうとする。	関連付けられた学びを、自分の生活にどう活かすか考えることができる。	関連付けられた学びを、自分の生活にどう活かすか考えることができる。
身の回りのもの・こと・人に自分から関わる。	課題解決に向けて身の回りのもの・こと・人に自分から働きかけていく。	課題解決に向け、見通しをもって計画的に進める。
自分の良さ、可能性に基づき、次に向けて意欲を高める。	自分で設定した課題解決に向けて自分で考えた方法で取り組む。	自分の良さに基づき、課題解決に向けて取り組む。
自分と異なる意見や考えを知り、探究活動に取り組もうとする。	自分と異なる意見や考えを知り、探究活動に取り組もうとする。	自分と異なる意見や考えを認め、探究活動に取り組もうとする。
自分のよさや友達とのよさに気づいて、共に活動する。	課題解決に向けて、友だちと協働して探究活動に取り組もうとする。	課題解決に向けて、友だちと協働して探究活動に取り組もうとする。
自分と自分を支えている人の存在に気づき、身近な人や地域への愛着をもつ。	自分と地域とのつながりに気づき、地域の活動に興味・関心をもつ。	自分と地域とのつながりに気づき、地域の活動に興味・関心をもち、自分にできそうなことを見つける。

単元の目標

○大竹で作られている食べ物について調べたり話を聞いたりして、それらに関わる人たちの思いや、大竹で作られている食べ物の良さに気付くことができる。
○大竹で作られている食べ物の良さを友だちと協働して伝える活動を通して、大竹市の良さについて改めて知り、興味や関心をもつことができる。

「資質・能力系統表」「単元の目標」などを参考に単元のループリックを作成

7 単元のループリック

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
①	A. 大竹で作られている食べ物の良さや、それらに関わる人の思いについて、自分の生活と関連付けて理解している。	①	A. 大竹の良さをメニューで伝えるために、根拠をもって学習課題を設定している。	①	A. 大竹で作られている食べ物に関心をもち、志を明確にした活動に取り組んでいる。
	B. 大竹で作られている食べ物の良さや、それらに関わる人の思いについて理解している。		B. 大竹の良さをメニューで伝えるために、学習課題を設定している。		B. 大竹で作られている食べ物に関心をもち、活動に取り組んでいる。
②	A. インターネットや図書資料等による調査を、目的に応じて適切に実施している。	②	A. 大竹市の良さを給食メニューで伝えるという活動への見通しをもって収集・整理している。	②	A. 専門家の話から、自分と異なる考えを取り入れ、探究活動に取り組んでいる。
	B. インターネットや図書資料等による調査を、目的に応じて実施している。		B. 大竹市の良さを給食メニューで伝えるために、必要な情報を収集・整理している。		B. 専門家の話から、協働的に取り組もうとしている。
③	A. 大竹で作られている食べ物の良さや、それらに関わる人々の思いについての理解は、大竹のステキについて、探究的に学習してきた成果であると気づき、今後も大切にしていきたいという思いをもっている。	③	A. これまでの学習を生かして生産者の思いや工夫も考えながら、大竹の良さが伝わるような給食メニューを考えている。	③	A. 大竹市のおいしい学習を通して誇りや愛着から地域を深めていく。
	B. 大竹で作られている食べ物の良さや、それらに関わる人々の思いについての理解は、大竹のステキについて、探究的に学習してきた成果であると気づいている。		B. 大竹の良さが伝わるような給食メニューを考えている。		B. 大竹市のおいしい学習を通して誇りや愛着を感じている。

5学年	6学年	中学校
問題をを見つけ、見つけた問題の中から根拠や目的をもって、本質的な問いにつながる課題を設定する。...	問題をを見つけ、見つけた問題の中から根拠や目的をもって、本質的な問いにつながる課題を設定する。...	実社会や実生活に広がっている複雑な問題の中から課題を設定し、自らの力で解決の方向を明らかにし、見通しをもって計画を立てる。...
自分なりの手段を選択し、課題や目的に応じて情報を収集する。...	自分なりの手段を選択し、課題や目的に応じて情報を収集する。...	情報収集の手段を意図的・計画的に用いたり、解決の過程や結果を見通したりして、多様で効果的な情報を収集する。...
集めた情報を分類したり関係付けたりして整理し、得られた情報から自分の考えや意見をもつ。...	集めた情報を分類したり関係付けたりして整理し、得られた情報の意味を理解し、そこから自分の考えや意見をもつ。...	収集した情報を取捨選択し、複数の情報を組み合わせることで自分の考えや意見をもつ。...
適した方法を用いてまとめ、効果的に表現したり、発信したりする。...	相手や目的に応じて工夫してまとめ、効果的に表現したり、発信したりする。...	整理・分析した結果や自分の考えをまとめたり、他者に伝えたりすること、振り返ることによって理解を深める。...
関連付けられた学びを、自分の生活や社会のためにどう活かすか考えることができる。...	関連付けられた学びを、自分の生活や社会のためにどう活かすか実行することを前提に考えることができる。...	関連付けられた学びを、実社会や実生活にどのように貢献できるかを考え、見直すことができる。...
課題解決に向け見通しをもって計画的に進めたり、挑戦したりする。...	課題解決に向け見通しをもって計画的に進めたり、工夫して挑戦したりする。...	課題解決に向け自分の意思で計画的に取り組む。...
自分の考えをもって、探究活動に向き合い、課題解決に向けて取り組む。...	自分らしさを発揮して探究活動に向き合い、課題解決に向けて取り組む。...	課題に対して、自分なりの解決策を見つけ、自分の特徴やよさを理解する。...
異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に取り組む。...	異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に取り組む。...	異なる意見や他者の考えを受け入れながら、課題解決に取り組む。...
課題解決に向けて、他者と協働して探究活動に取り組む。...	課題解決に向けて、他者と協働して探究活動に取り組む。...	課題解決に向けて、他者と批評し合いながら、探究活動に取り組む。...
自分と地域の関わりを考えながら、共に笑顔で生きていけるような地域にしていこうという思いをもつ。...	自分と地域との関わりを考えながら、ふるさと大竹の将来展望をもって、地域参画しようとする思いをもつ。...	実社会や実生活との関わりを考えながら、ふるさと大竹へ貢献する。...

単元目標

○大竹中学校の伝統とこれまでの先輩たちの伝統への思いを知り、後輩に向けて自分たちができていることを主体的に考え、表現することができる。
 ○大竹中学校を支えてくださった地域について生徒に考えさせることで、大竹市で学んだことに誇りを持つことができる。

小学校での学びも考慮に入れて、単元のルーブリックを作成

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①	A- 大竹中学校の伝統とそれに対する思いや願いを様々な視点から理解している。...	A- 先輩から大竹中学校の伝統に対する思いや願いを聞くことで、自分たちも後輩に伝えたいという課題に対して、解決への見通しをもって計画をし、解決の方法や手順を考えている。...	A- 活動の振り返りを通して、自分の考えを試行錯誤し、他者の考えを尊重しながら、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。...
	B- 大竹中学校にある伝統と伝統に対する思いや願いを理解している。...	B- 先輩から大竹中学校の伝統に対する思いや願いを聞くことで、自分たちも後輩に伝えたいという課題に対して、解決への見通しをもって計画している。...	B- 活動の振り返りを通して、自分の考えを試行錯誤し、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。...
②	A- 伝統を後輩に伝えるために必要な情報を収集し、適切に表現している。目的や場面に応じて、対象に応じて適切な方法で実施し、正しい情報を入手している。...	A- 後輩に表現するために、多様な方法の中から効果的な手段を選択し、テーマに合わせて主体的、協働的に情報を蓄積させている。...	A- 自他の考えを尊重し、お互いの考えを尊重しながら、協働して、課題解決に取り組んでいる。...
	B- 伝統を後輩に伝えるために必要な情報を収集している。...	B- 後輩に表現するために、多様な方法の中から効果的な手段を選択し、主体的、協働的に必要な情報を収集している。...	B- 自他の考えを尊重しながら、協働して、課題解決に取り組んでいる。...
③	A- 「大竹中学校の伝統を伝えたい」という意欲の高まりは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。...	A- 後輩が「受け継ぎたい」と思えるように、必要な情報を適切に選択したり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら、根拠と理由を持って、解決に向けて考えている。...	A- 大竹中学校の伝統継承に自分のこととして取り組み、自分ができることを考えている。...
	B- 「大竹中学校の伝統を伝えたい」という思いの高まりは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。...	B- 後輩が「受け継ぎたい」と思えるように必要な情報を適切に選択し、解決に向けて考えている。...	B- 大竹中学校の伝統継承に自分のこととして取り組み、自分ができることを考えている。...

令和4年度 大竹小学校・中学校 育てたい資質・能力

資質・能力		1学年	2学年
課題発見・解決能力	課題の設定	自分の生活や身の回りのことに関心をもち、関わる。	自分の生活や身の回りのことに関心をもち、遠くまで調べる。
	情報の収集	教師の援助を得て、身近なところから情報を集める。	教師の援助を得て、身近なところから情報を集める。
	整理・分析	教師の援助を得て比べたり分けたりして対象をとらえ、自分なりの考えをもつ。	教師の援助を得て比べたり分けたりして対象をとらえ、自分なりの考えをもつ。
	まとめ・表現	「みつけたよ」カードや、発表カードに書いたリクラスの人に伝えたりする。	教師の援助を得て、示された方法で調べたことをまとめ、表現する。
	振り返り	何か「分かり」できるようになったのか振り返り、生活に活かそうとする。	何か「分かり」できるようになったのか振り返り、生活に活かそうとする。
主体性	自立性	身の回りのもの・こと・人に関心をもつ。	身の回りのもの・こと・人に自分から関わる。
	自己理解	自分のできること、できるようになったことに気付く。生活に活かそうとする。	自分の良さ、可能性に気づき、次に向けて意欲を高める。
	他者理解	友だちのよさに気づいたり、友だちを認めたりする。	自分と異なる意見や考えがあることを知り、探究活動に取り組もうとする。
	協働性	自分のよさや友達とのよさに気づいて活動する。	自分のよさや友達とのよさに気づいて、共に活動する。
	将来展望・社会参画	自分と自分を支えてくれている人の存在に気づく。	自分と自分を支えてくれている人の存在に気づき、身近な人や地域への愛着をもつ。

単元の目標

○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家族のいいところ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようになる。

評価規準のAとBの違いを明確化すること、見取りのためには、行動面に着目することを大切にする。

6 単元（小単元）のルーブリック

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
じぶんのいちにぎをみよめよう	A、 家庭の中で自分に関わって家の人に助けられていることに気づき、整理したことを話している。	A、 家で毎日、自分や家の人が行っていることを思い出して、自ら思考を広げて書いている。	A、
	B、 家庭の中で自分に関わって家の人に助けられていることに気づき、整理している。	B、 家で毎日、自分や家の人が行っていることを思い出して書いている。	B、
じぶんのできることをしよう	A、 家の人が行っている仕事や役割や調べた時の気付きについて友だちと伝え合っている。 自分がお手伝いに取り組んだ様子を発表し、そのときの気持ちを友だちに詳しく話したり記録カードに書いたりしている。	A、 自分が家の人に行っていることを調べてみようという思いをもち、見通しをもちながら準備している。 家族スマイル大作戦パート1に向けて取り組むお手伝いを決め、家の人のお気持ちを考えて計画を立てている。	A、 家族スマイル大作戦パート2ですのお手伝いと、そのお手伝いに決めた理由を書いている。 自分を支えてくれている家族の存在に感謝の気持ちと、家の人役に立つためにお手伝いを続けたいという思いを書いている。
	B、 家の人が行っている仕事や役割について友だちと伝え合っている。 自分がお手伝いに取り組んだ様子を発表し、そのときの気持ちを友だちに話したり記録カードに書いたりしている。	B、 自分が家の人に行っていることを調べてみようという思いをもち、準備している。 家族スマイル大作戦パート1に向けて取り組むお手伝いを決め、計画を立てている。	B、 家族スマイル大作戦パート2ですのお手伝いを決めている。 家の人役に立つためにお手伝いを続けたいという思いを書いている。
これからもう	A、 自分が続けていることやその時の家族の様子を友だちと伝え合う中で、友だちのよさや頑張りを話	A、 自分ができるようになったことを話し、さらに続けていきたいことや挑戦していきたい	A、 自分や友だちのよさや成長に気づき、これからも家族の一員として役割を果たしていこうという思いを書

じぶんでできるよ

かぞくスマイル大作せんパート2のお手伝いを
きめることができる。



そのおてつだいにきめたわけをかくことができる。

さくせん2でするおてつだいをきめることができる。

授業では本時のめあてを伝える時にルーブリックを児童と共有

が家の人にして
ていることを調
ようという思い
、見通しをもち
準備している。
スマイル大作戦
1に向けて取り
手伝いを決め、
の気持ちを考え
を立てている。
が家の人にして
ていることを調
ようという思い
、準備している。
スマイル大作戦
1に向けて取り
手伝いを決め、
立てている。
ができるように

A 家族スマイル大作戦パート2でするお手伝いと、そのお手伝いに決めた理由を書いている。

自分を支えてくれている家族の存在に感謝の気持ちと、家の人役に立つためにお手伝いを続けたいという思いを書いている。

B 家族スマイル大作戦パート2でするお手伝いを決めている。

家の人役に立つためにお手伝いを続けたいという思いを書いている。

A 自分や友だちのよさや成

評価規準のAとBを見取れるようなワークシートを作成

じぶんでできること

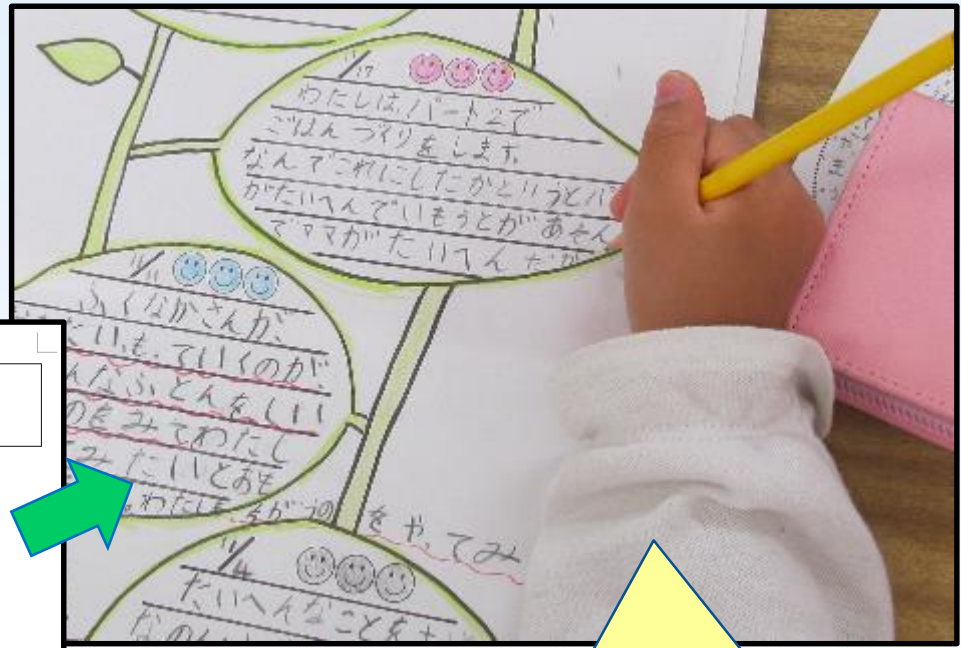
パート1では、()をしました。

パート2では、()をします。

これにきめたわけは、

かぞくのきもち

どうなりたいか



授業のリフレクションで、本時のルーブリックについて自己評価

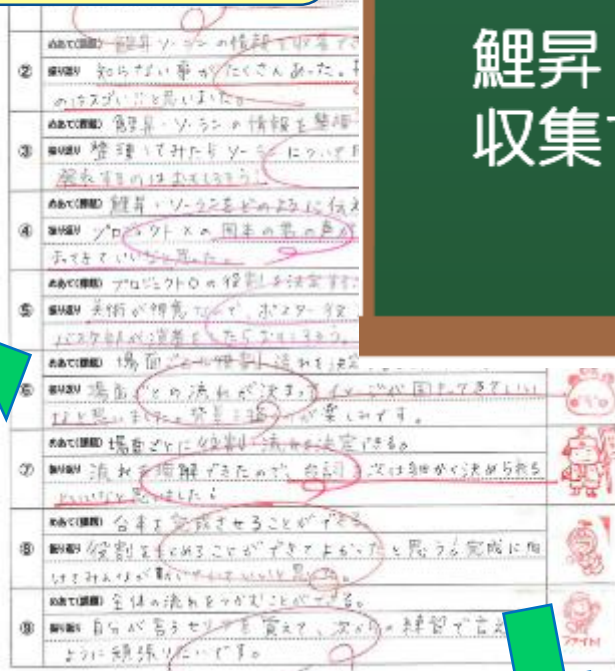
3年生 総合的な学習の時間 『 伝われ！竹中の伝統！ 』～大竹中の伝統を伝えよう～

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①	A 大竹中学校の伝統とそれに対する思いや願いを様々な視点から理解している。	A 先輩から大竹中学校の伝統に対する思いや願いを聞くことで、自分たちも先輩に伝えたいという課題に対して、解決への見通しをもって計画をし、解決の方法や手順を考えている。	A 活動の振り返りを通して、自分の考えを試行錯誤し、他者の考えを尊重しながら、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。
	B 大竹中学校にある伝統と伝統に対する思いや願いを理解している。	B 先輩から大竹中学校の伝統に対する思いや願いを聞くことで、自分たちも先輩に伝えたいという課題に対して、解決への見通しをもって計画している。	B 活... 動的な活動に取り組もうとしている。
②	A 伝統を先輩に伝えるために必要な情報を収集し、適切に表現している。目的や場面に応じて、対象に応じて適切な方法で実施し、正しい情報を入手している。	A 先輩に表現するために、多様な方法の中から効果的な手段を選択し、テーマに合わせて主体的、協働的に情報を蓄積させている。	A 自他の考えを尊重し、お互いの考えを批判しながら、協働して、課題解決に取り組んでいる。
	B 伝統を先輩に伝えるために必要な情報を収集している。	B 先輩に表現するために、多様な方法の中から効果的な手段を選択し、主体的、協働的に必要な情報を収集している。	B 自他の考えを尊重しながら、協働して、課題解決に取り組んでいる。
③	A 「大竹中学校の伝統を伝えたい」という意欲の高まりは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	A 先輩が「受け継ぎたい」と思えるように、必要な情報を適切に選択したり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら、根拠と理由を持って、解決に向けて考えている。	A 大竹中学校の伝統継承に自分のこととして取り組み、自分ができることを考えている。
	B 「大竹中学校の伝統を伝えたい」という思いの高まりは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	B 先輩が「受け継ぎたい」と思えるように必要な情報を適切に選択し、解決に向けて考えている。	B 大竹中学校の伝統継承に自分のこととして取り組んでいる。

ルーブリックをもとに
本時のめあてを決定

本時のめあて

鯉昇・ソーランの情報を収集することができる。



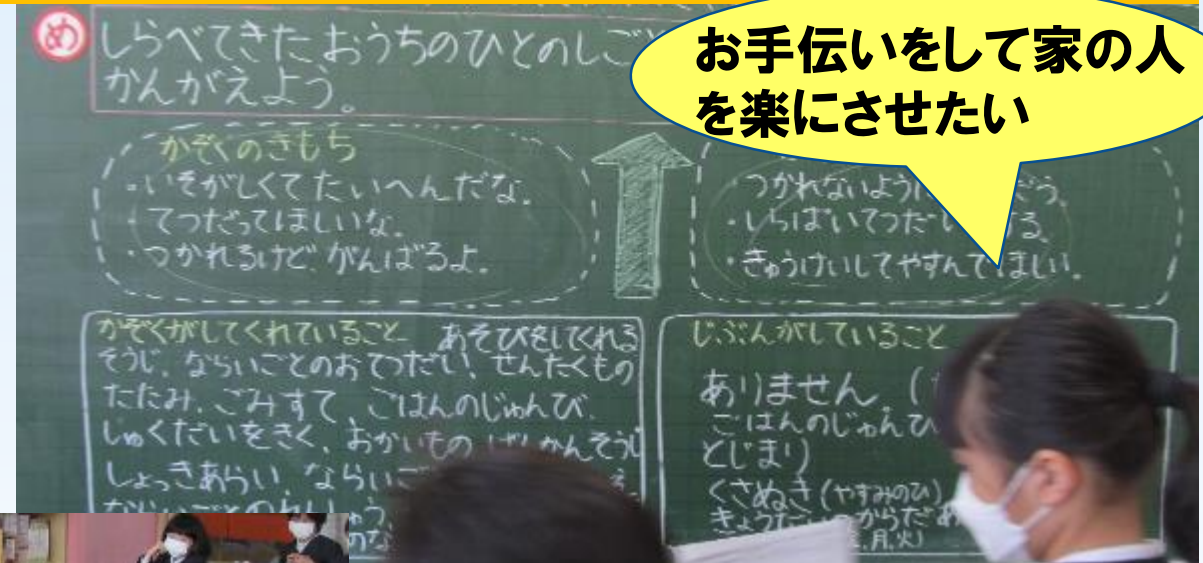
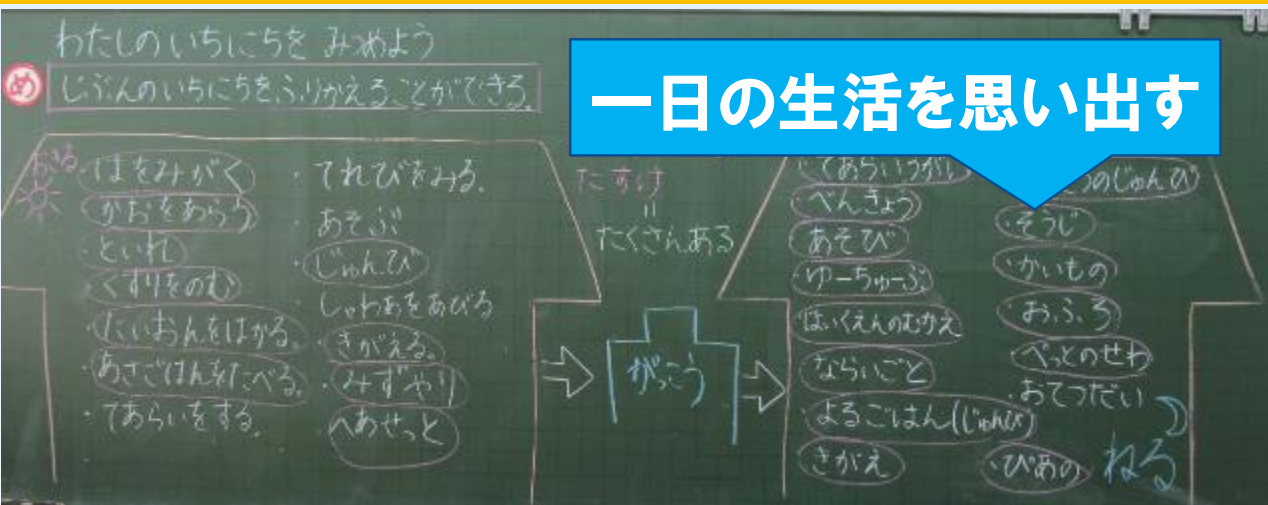
リフレクションで
自己評価

② 振り返り 知らない事がたくさんあった。振り付けが変わってないのはすごい!! と思いました。

3. 小学校授業の実際

単元の目標

家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家族のいいところ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようになる。

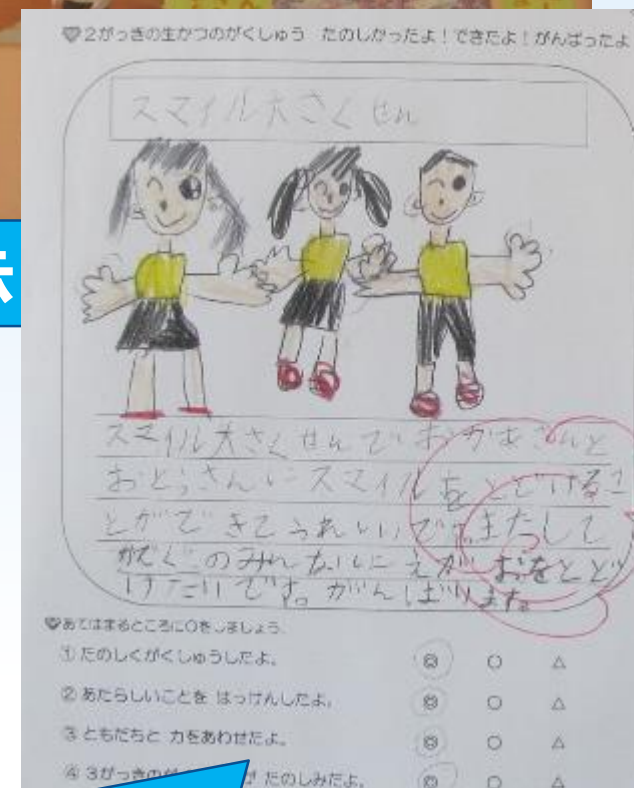


お手伝いの数だけシールを貼付

活動の進度を掲示



さまざまなお手伝いを発表会の写真で掲示



リフレクションシートによる活動の振り返り

友達のお手伝いを動画で視聴



単元の目標

○大竹で作られている食べ物について調べたり話を聞いたりして、それらに関わる人たちの思いや、大竹で作られている食べ物の良さに気付くことができる。

○大竹で作られている食べ物の良さを友だちと協働して伝える活動を通して、大竹市の良さについて改めて知り、興味や関心をもつことができる。

課題の設定



情報収集



お米と、大竹の食材を使った給食メニューを考案



整理・分析

地域のゲストティーチャー
大竹の食についての学び



まとめ・表現



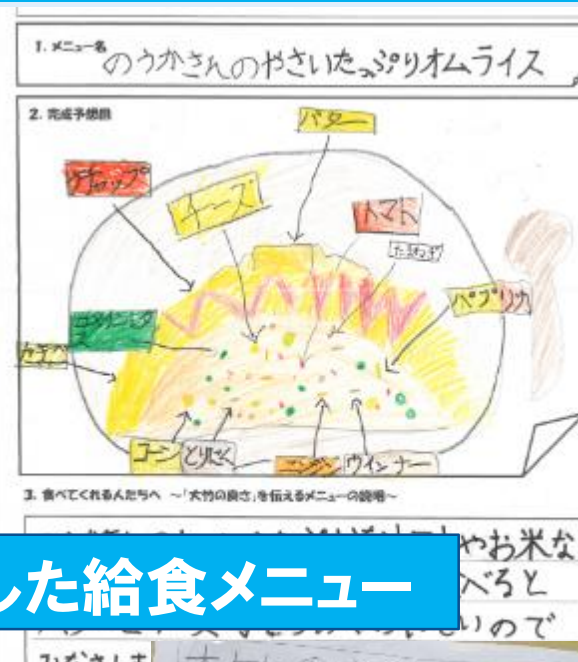
育てたお米を生かして大竹のおいしさを伝えたい！

給食メニューをグループで発表



タブレットの活用

グループで協働的に



児童が考案した給食メニュー

大竹の 食材メモ ～いくつか見つけれられるかな?!～

NO 月 日()

名前()

学習して発見した大竹の食材をどんどん書きためていきましょう。「食材」の中にある大竹にまつわる **ふか** や **ひみつ** を食材と綴っておすんでメモしておきましょう。

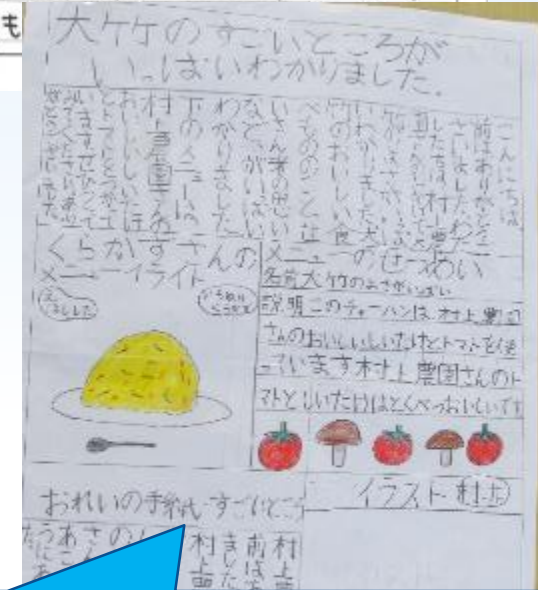
例 食材 **大竹ならではの!**
はまち → 大竹市阿多田島でそだてられている。レモンをえさにまぜている。

ギョギョ!
おいしい大竹
おいしく食べたいコイ!

食材	大竹ならではの!	食材	大竹ならではの!
	→		→
	→		→
	→		→
	→		→
	→		→



給食メニューが採用されることに!



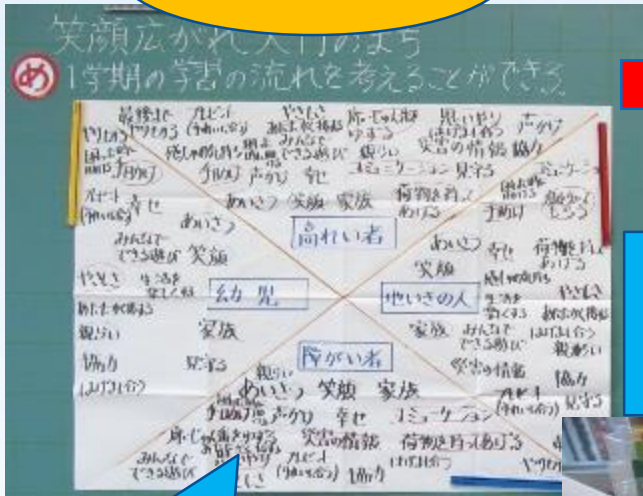
自主的な新聞の下書き

思考ツールをアレンジしたワークシート

単元の目標

- 高齢者に関わるさまざまな立場の人々の暮らしについて調べたり、話を聞いたりして、その人たちの思いや、努力を知ることができる。
- 将来の大竹のまちづくりの主演として、今、自分にできることを考え、実行することができる。

課題の設定



ゲストティーチャーの話
認知症についての学び

情報収集



整理・分析



笑顔を広げるためにサポートが必要な人の存在について考える

まとめ・表現



歌、メッセージなど心を込めた贈り物を贈る



高齢者の笑顔のために行動することを整理

目的
(竹子オレンジプロジェクト)
大竹の高れい者の笑顔を広げよう

- ① 大竹の高れい者を笑顔にする活動の見直しをもつ。
- ② 高れい者について知る。
- ③ 調べたことを整理する。
- ④ 自分たちにできることを考える。
- ⑤ (竹子オレンジプロジェクト)に向けて準備をする。
- ⑥ (竹子オレンジプロジェクト)を実行する。
- ⑦ 学習の振り返りをする。

目的
(竹子オレンジプロジェクト)で
大竹の高れい者の笑顔を広げよう!

- ① 大竹の高れい者を笑顔にする活動の見直しをもつ。
- ② 高れい者について知る。
- ③ 調べたことを整理する。
- ④ 自分たちにできることを考える。
- ⑤ (竹子オレンジプロジェクト)に向けて準備をする。
- ⑥ (竹子オレンジプロジェクト)を実行する。
- ⑦ 学習の振り返りをする。

笑顔広がれ大竹の町～高れい者とつながろう～
5年

④ 高れい者に対する自分の思いや原由を表現することができる。

いつまでも笑顔で生活してほしい。
いりなく安心してこの町にいてほしい。
健康でいてほしい。
いやなことがあったら、それを
ほけん所(市役所)みたい
てかいけつしてもらい、ハッ
で生活してほしい。



総合的な学習の時間 リフレクションシート

笑顔広がれ 大竹のまち ～ 高齢者とつながろう

家に残ったことなど

●今後の生活や学習に生かしたいこと

活動内容の
児童との共有

リフレクションシートを工夫
ポートフォリオに

活動内容の流れを見える化

ルーブリックの共有 自己評価につなげる

つながろう～ 竹っ子オレンジプロジェクト

高れい者の立場に立って理由づけて

友達の見聞も参考にしながら考えることができた。

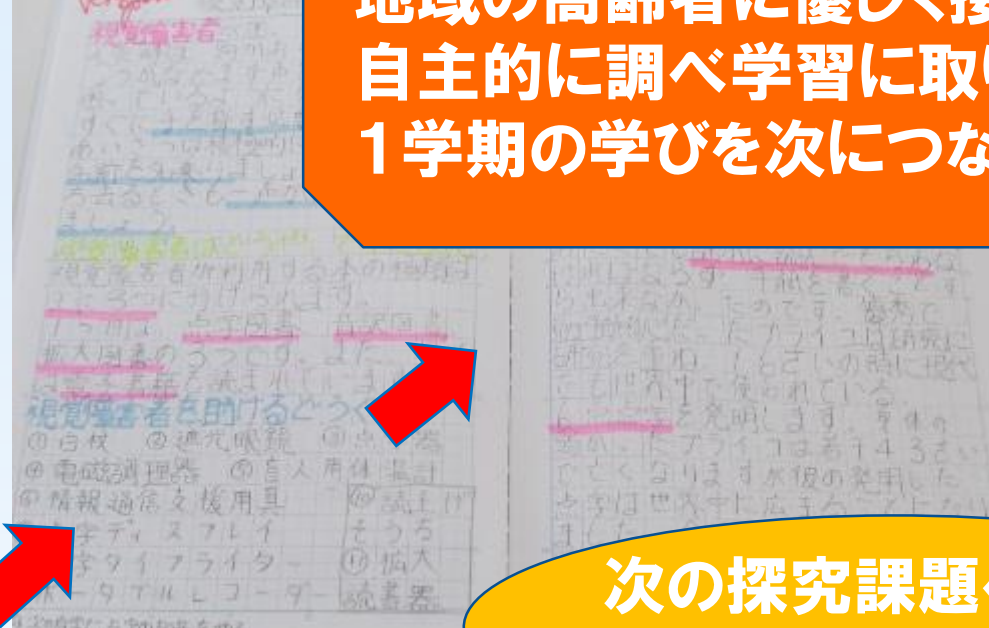
みんなて力を合わせること

自分たちにできることを考える

あたまをつかうゲームを

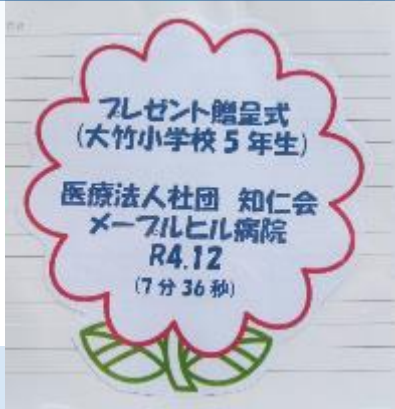
単元全体のリフレクション

地域の高齢者に優しく接する児童
自主的に調べ学習に取り組む児童
1学期の学びを次につなげる児童



次の探究課題へ
新一年生とつながろう！

5年生へのお礼の
メッセージが届く



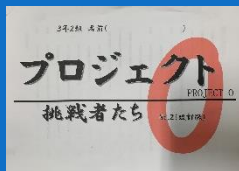
次へのやる気の高まり



新一年生のために何をしよう

4. 中学校授業の実際

IV 中学校授業の実際



3 学年 総合的な学習の時間 単元名： 伝われ！ 竹中の伝統！ ～大竹中の伝統を伝えよう～

単元目標

- 大竹中学校の伝統とこれまでの先輩たちの伝統への思いを知り，後輩に向けて自分たちができることを主体的に考え，表現することができる。
- 大竹中学校を支えてくださった地域について生徒に考えさせることで，大竹市で学んだことに誇りを持つことができる。

課題の設定



情報収集



ICTの活用 大竹中の伝統について情報収集

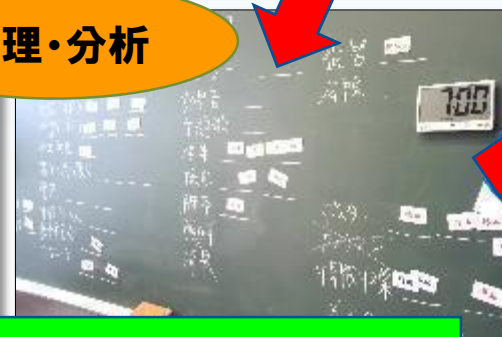


まとめ・表現



実際に後輩の前で発表

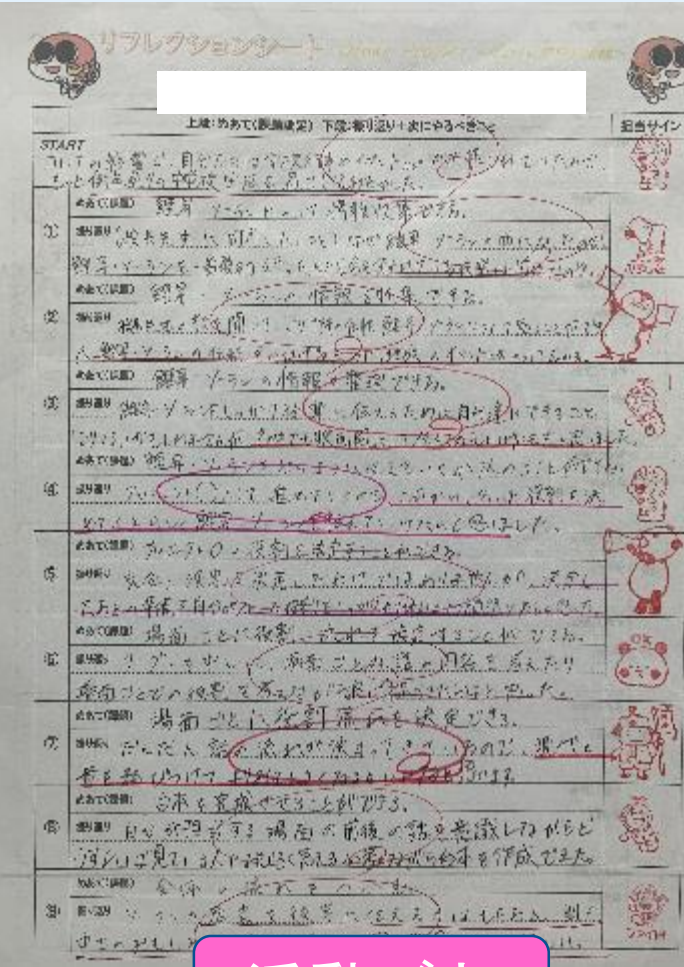
整理・分析



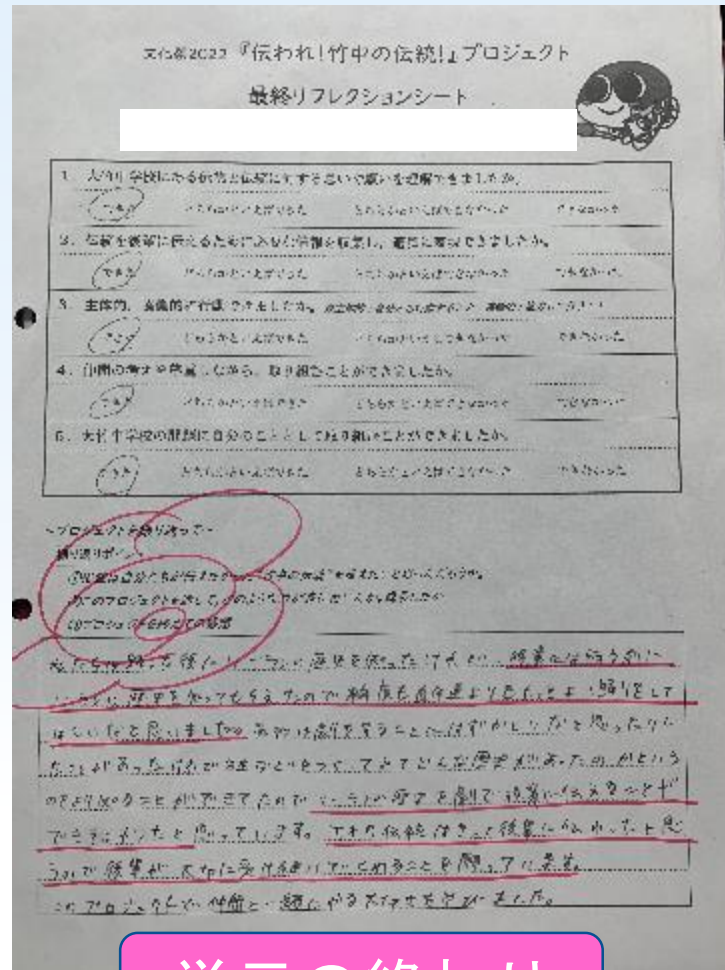
伝えたいこと・伝える方法について整理

ゲストティーチャー
(校長先生)のお話
『大竹中の伝統が消え
かけている』
ということに気付く！

リフレクションシート



活動ごと



単元の終わり

	知識・技能 ^①	思考・判断・表現 ^②	主体的に学習に取り組む態度 ^③
①	A ^① 大竹中学校の伝統とそれに対する思いや願いを様々な視点から理解している。	A ^② 先輩から大竹中学校の伝統に対する思いや願いを聞くことで、自分たちも後輩に伝えたいという課題に対して、解決への見通しをもって計画をし、解決の方法や手順を考えている。	A ^③ 活動の振り返りを通して、自分の考えを試行錯誤し、他者の考えを尊重しながら、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。
	B ^① 大竹中学校にある伝統と伝統に対する思いや願いを理解している。	B ^② 先輩から大竹中学校の伝統に対する思いや願いを聞くことで、自分たちも後輩に伝えたいという課題に対して、解決への見通しをもって計画している。	B ^③ 活動の振り返りを通して、自分の考えを試行錯誤し、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。
②	A ^① 伝統を後輩に伝えるために必要な情報を収集し、適切に表現している。 目的や場面に応じて、対象に応じて適切な方法で実施し、正しい情報を入手している。	A ^② 後輩に表現するために、多様な方法の中から効果的な手段を選択し、テーマに合わせて主体的、協働的に情報を蓄積させている。	A ^③ 自他の考えを尊重し、お互いの考えを批評しながら、協働して、課題解決に取り組んでいる。
	B ^① 伝統を後輩に伝えるために必要な情報を収集している。	B ^② 後輩に表現するために、多様な方法の中から効果的な手段を選択し、主体的、協働的に必要な情報を収集している。	B ^③ 自他の考えを尊重しながら、協働して、課題解決に取り組んでいる。
③	A ^① 「大竹中学校の伝統を伝えたい」という意欲の高まりは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	A ^② 後輩が「受け継ぎたい」と思えるように、必要な情報を対象選択したり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら、根拠と理由を持って、解決に向けて考えている。	A ^③ 大竹中学校の伝統継承に自分のこととして取り組み、自分ができていることを考えている。
	B ^① 「大竹中学校の伝統を伝えたい」という思いの高まりは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	B ^② 後輩が「受け継ぎたい」と思えるように必要な情報を対象選択し、解決に向けて考えている。	B ^③ 大竹中学校の伝統継承に自分のこととして取り組んでいる。

生徒の様子

プロジェクトを通して、自分たちで課題を見つけてそれを解決することができました。完成させることは大変だったけど、全力で取り組むことができてよかったです。



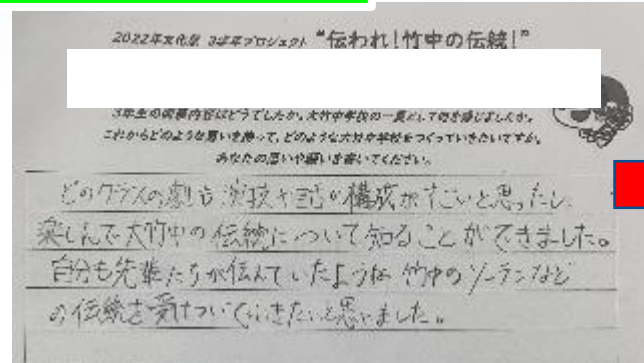
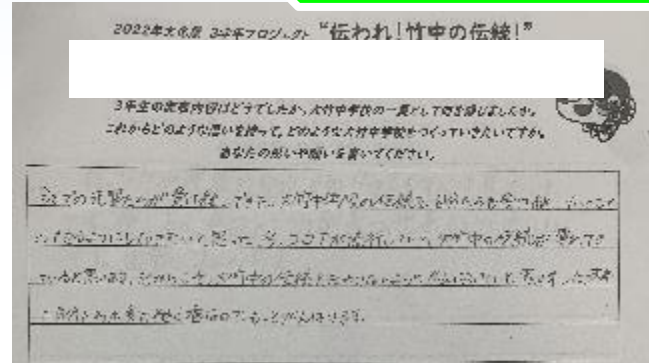
このプロジェクトを通して、大竹中の伝統を守ることの大切さだけでなく、仲間と協働し、1つの作品を創り上げることの素晴らしさを感じることができました。

ソーランというずっと続いているこの伝統をどうしたら後輩が興味を持ってくれるかを考え、作品を作ったので、これまでよりかは1, 2年生のソーランに対する意識を変えられたと思います。

後輩には踊る前にソーランの歴史を知ってもらえたので、来年度も自分たちよりももっとよい踊りをして欲しいなと思いました。

後輩からのメッセージ

全体での振り返り



課題解決に対する自信の高まり

めあて(課題) 鮮昇・ソーランをどのように伝えていくか決めることができる。

- ④ 振り返り 虚りとして伝えていくのは楽しそうだと思いますが、私は虚りにしなくても伝わると思います。例えば前に書いたフジセンの方が時間や費用がかからないからです。

めあて(課題) プロジェクトの役割を決定することができる。

- ⑤ 振り返り 役割が決まりません。たけど、やるならば、出番が少なく、演者として活躍してみようかなと思いました。

総合の時間に私は、ものすごく自己中なことをしてしまいました。それは友達と話してもいい時間に誰とも話せなかった不安ややる気のなさがこみ上げてきて、父前カードを黒板に見せられたことです。バカなことをしたと後悔しています。本当に、ごめんなさい!!

今日は総合の時間に嬉しいことがありました。それは、私がグループのリーダーに「余ってる役はないか?」と聞いても、なかなかグループに入れてもらえませんでした。そして、最後に「最初の場面」のグループの人に関くと、グループに入れてもらったので本当に嬉しかったです。

明日は後輩に、後明日は保護者に「プロジェクト」の練習成果を披露する日です。正直、めっちゃ緊張しています。だけど、「プロジェクト」にはソーランを伝えたいといけないうという大事な使命が込められているので、全力でやりまわりたいです!

このドリルでまちがった問題をやり直したりするのに使いましょう。

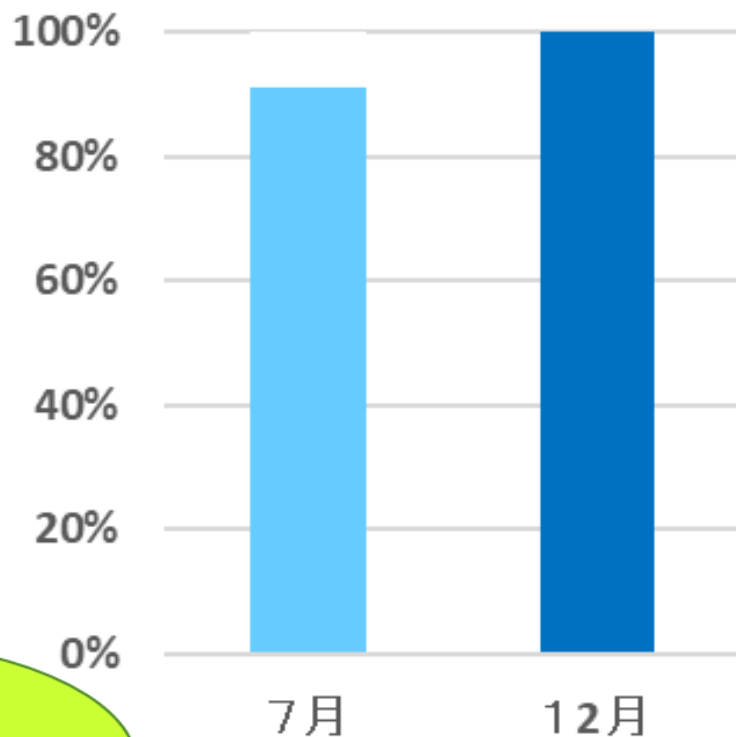
5. 成果と課題

小学校職員アンケート

学習内容の工夫

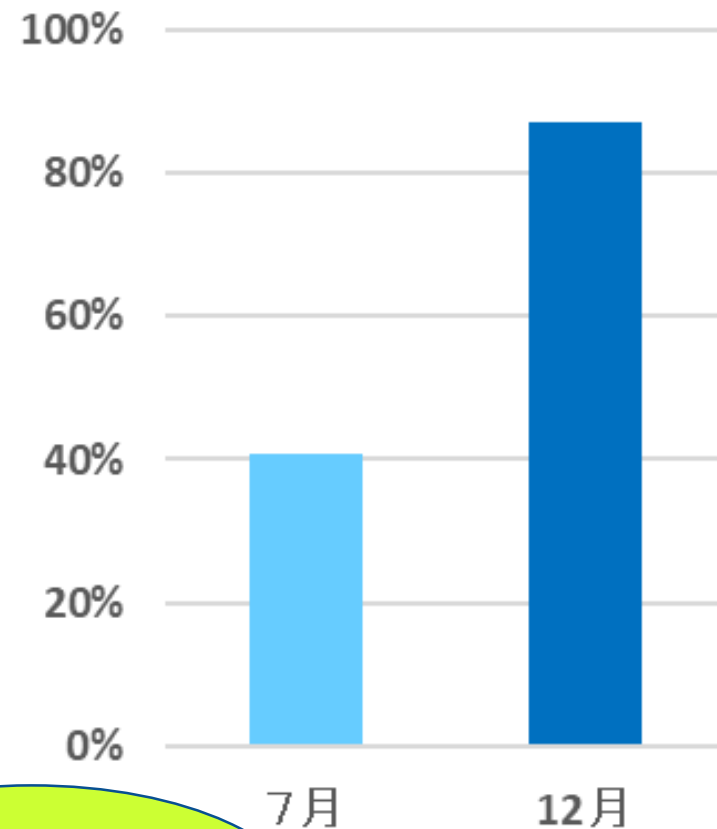
思考ツールの活用

学習内容の工夫をした



1 学期 91%
2 学期 **100%**

思考ツールの活用

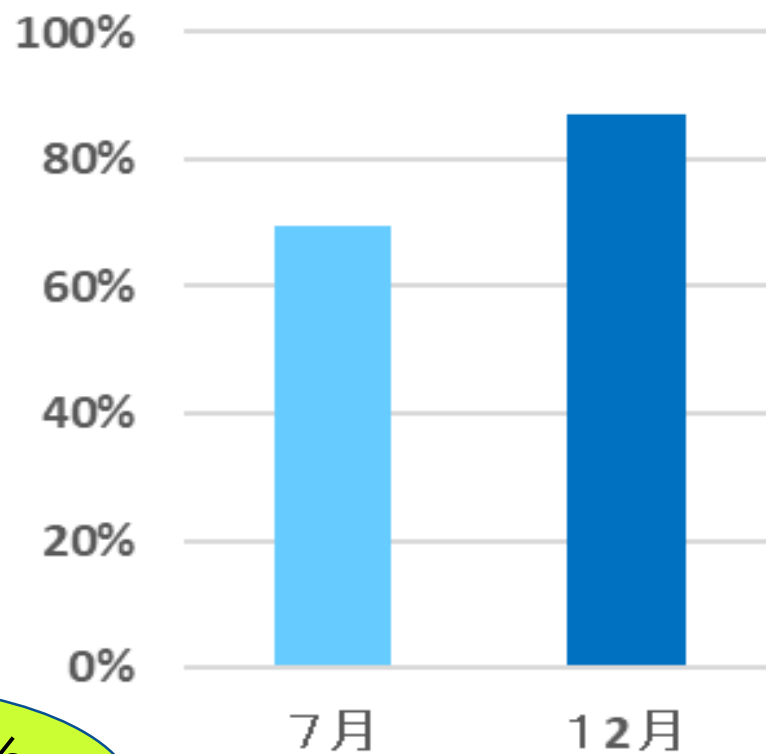


1 学期 41%
2 学期 **87%**

小学校職員アンケート

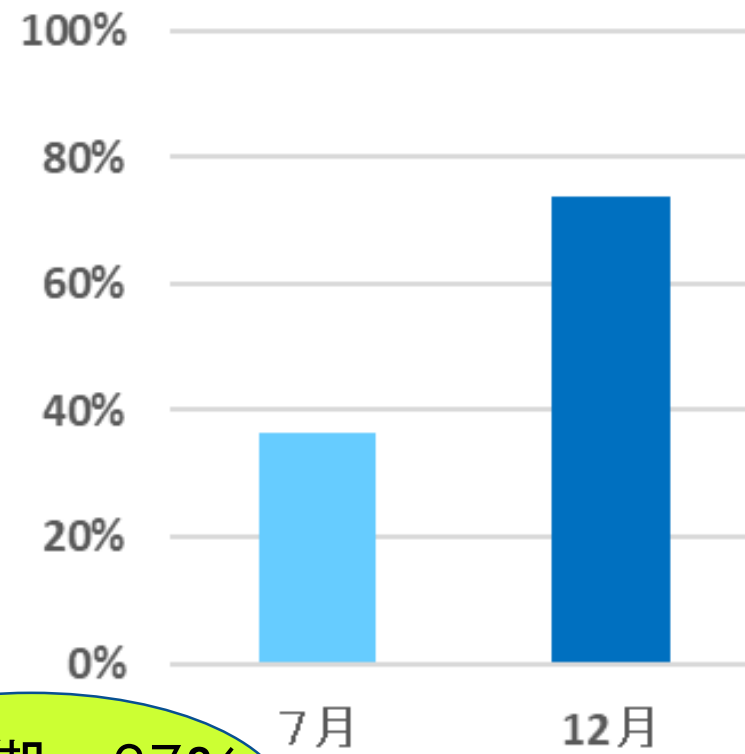
リフレクション
ルーブリック評価の
効果的な活用

リフレクションを次に生かす



1 学期 70%
2 学期 87%

ルーブリック評価の活用



1 学期 37%
2 学期 74%

I 研究の概要

II 大竹小・中学校の取組

III 小学校授業の中で

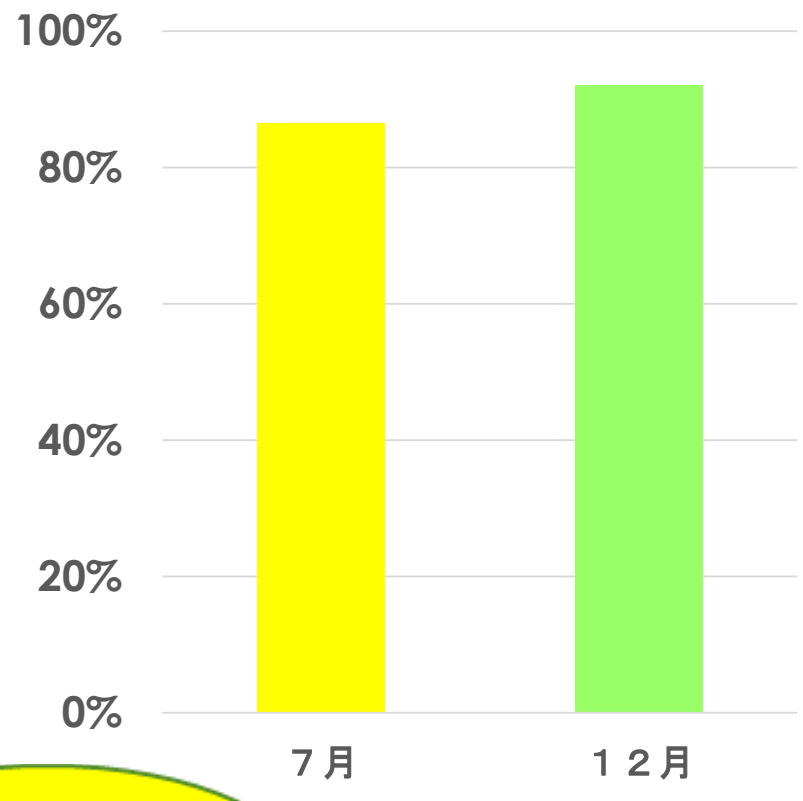
IV 中学校授業の中で

V 成果と課題

小学校
児童学校評価アンケート

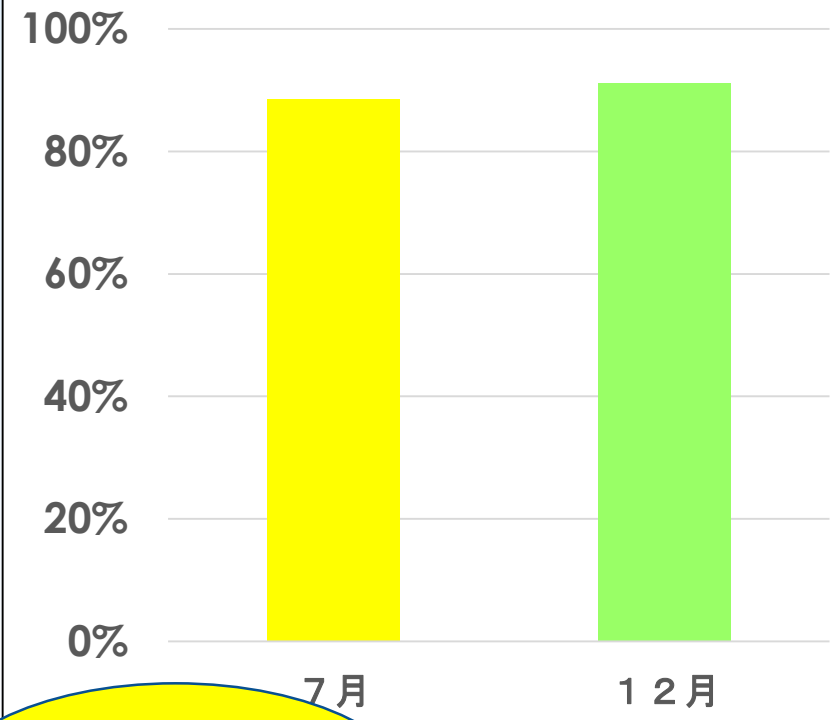
課題発見・解決能力

大竹のよさや課題に気付く



1学期 87%
2学期 92%

活動を通して自分で考えて
行動する



1学期 88%
2学期 91%

I 研究の概要

II 大竹小・中学校の取組

III 小学校授業の中で

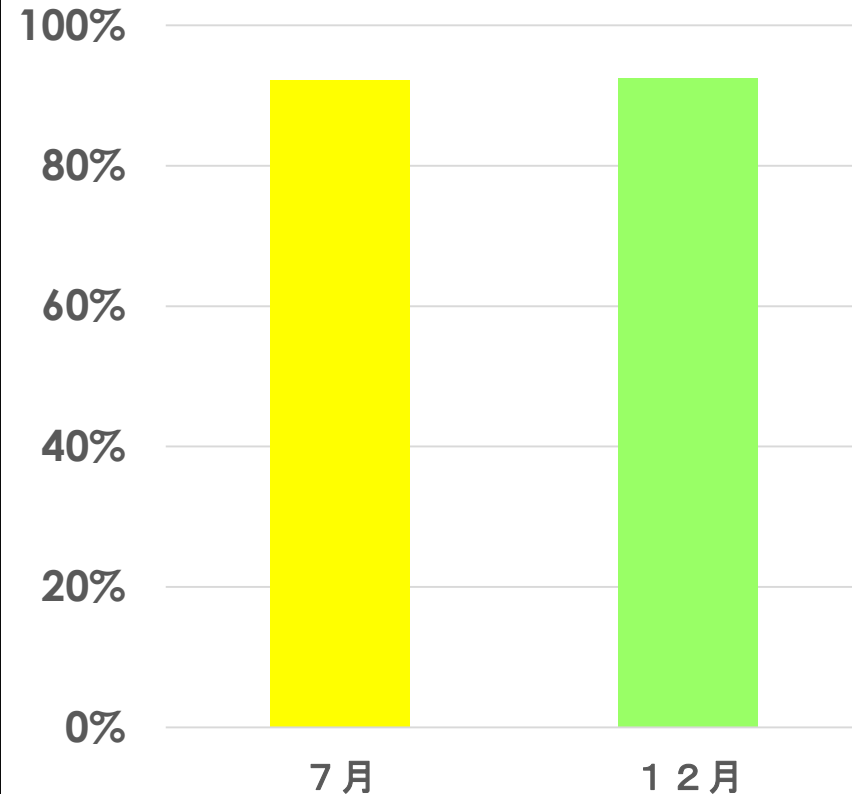
IV 中学校授業の中で

V 成果と課題

小学校
児童学校評価アンケート

主体性

活動に自分から
進んで取り組む



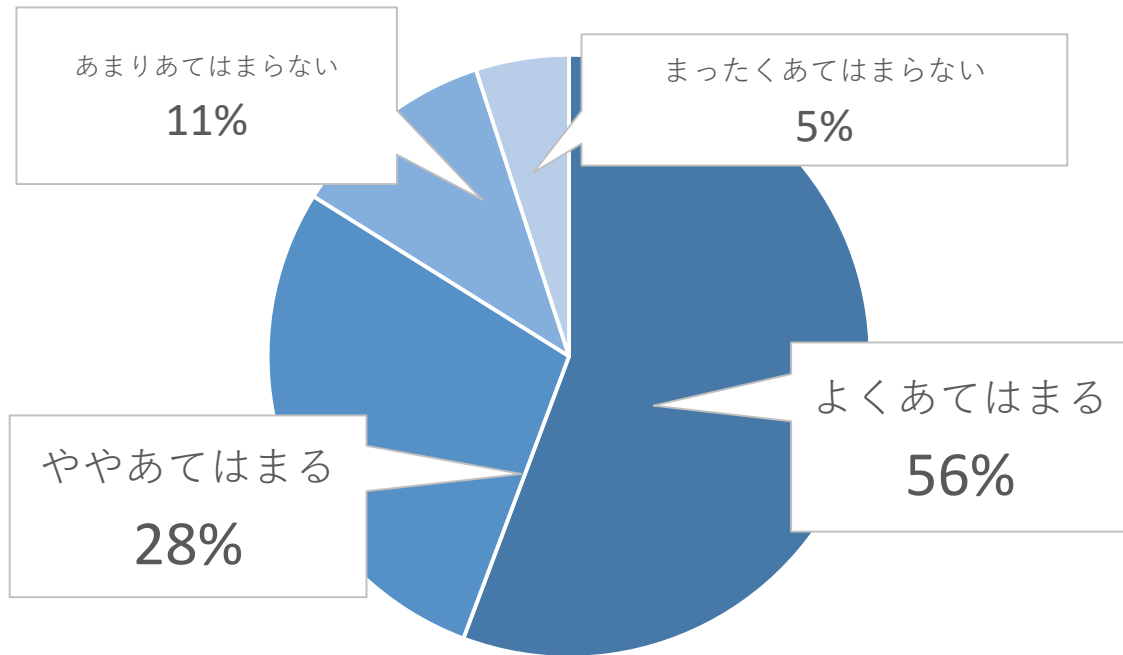
1学期 92%
2学期 92%

「総合的な学習の時間について…」

質問項目	肯定的評価	否定的評価
テーマとの出会いを工夫した。	100	0
学習内容の工夫をした。	100	0
学習のリフレクションを適切な時に行った。	70	30
リフレクションを次に生かすことができた。	70	30
探究的な学習となる取組を行うことができた。	92	8
思考ツールを活用した。	62	38
実生活・実社会の課題を解決する学習を展開した。	85	15
社会へ還元する学習を仕組んだ。	70	30
生徒の「主体的」「協働的」な活動を引き出した。	100	0
ルーブリック評価を活用した。	31	69

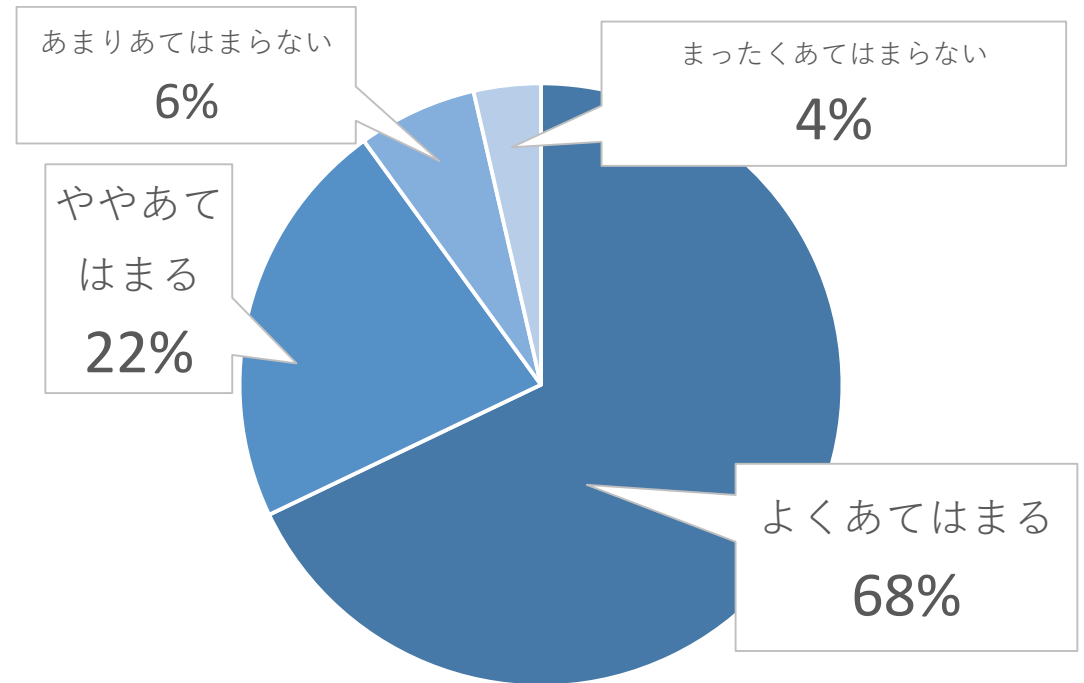
「総合的な学習の時間を通して...」

Q1 大竹市のよい所や課題に
気付くことができた。



肯定的回答 **84%**

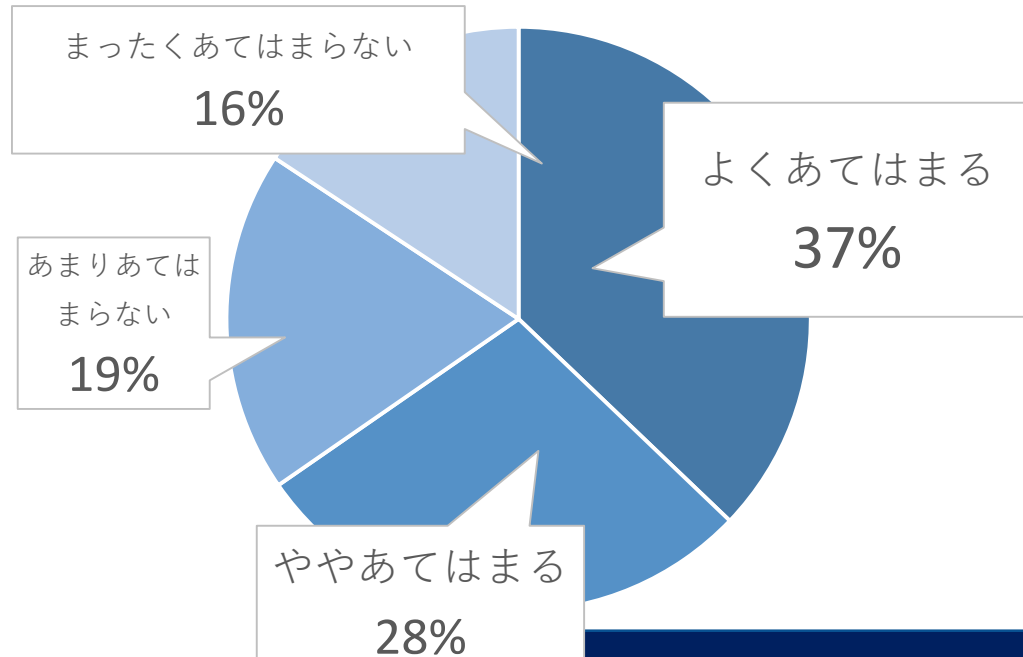
Q2 自分の考えを深めることができた。



肯定的回答 **90%**

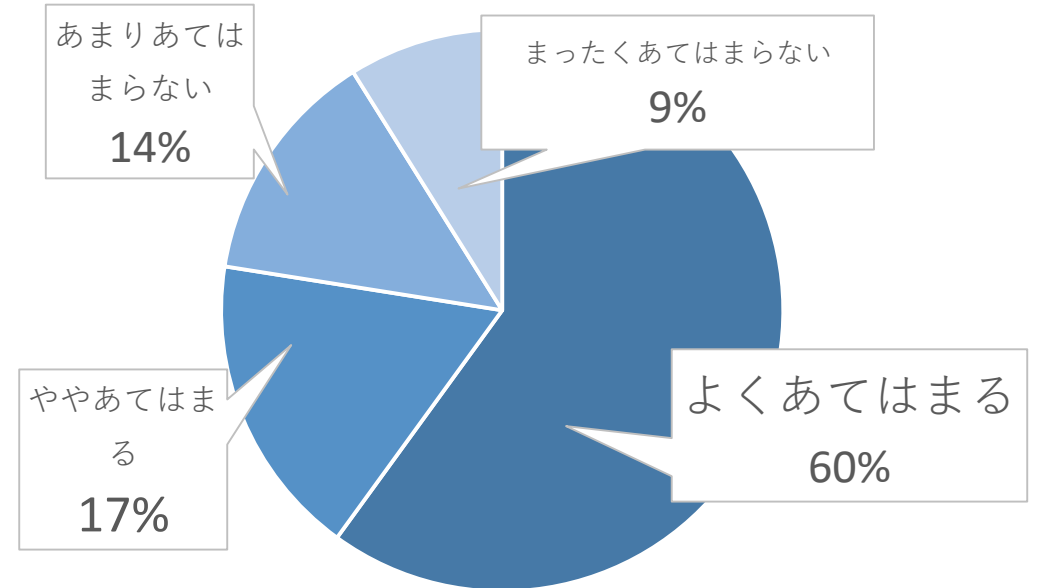
「総合的な学習の時間を通して…」

Q3 他の人の考えから学ぶことがあった。



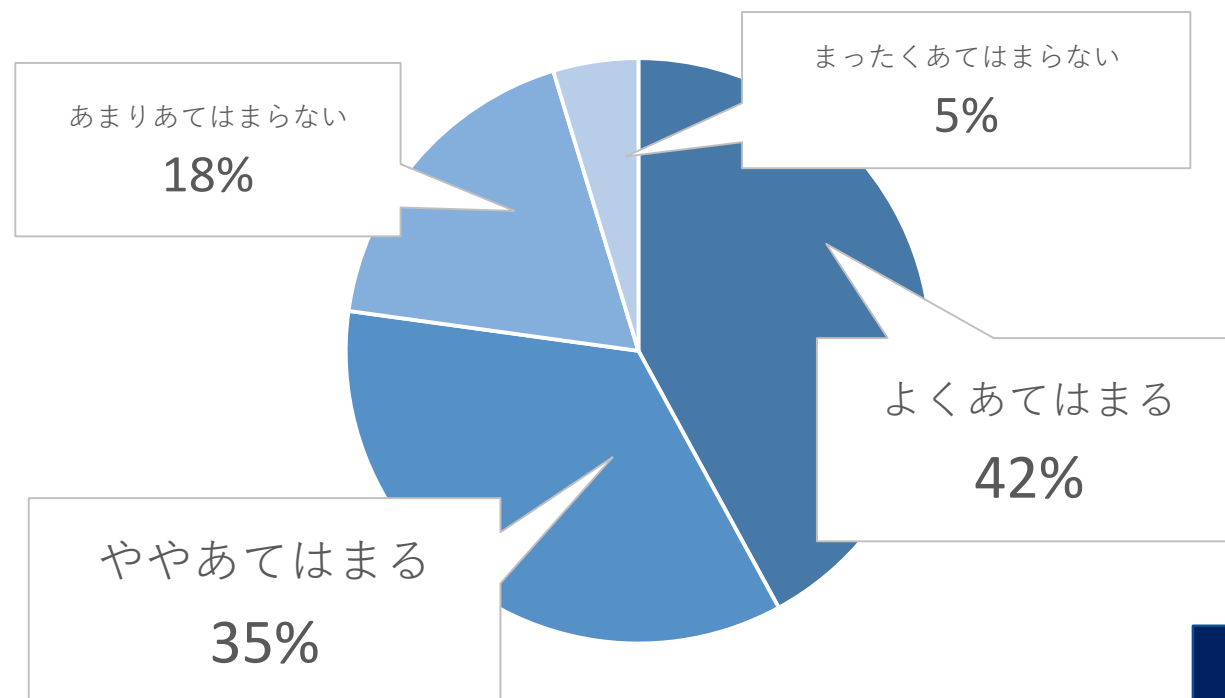
肯定的回答 **65%**

Q4 自分が誰かの役に立っていると
感じることができた。



肯定的回答 **77%**

Q5 授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ。



肯定的回答 **77%**

《成果》

- ・生活科・総合的な学習の時間に全学年で地域について扱い、地域のゲストティーチャーからの学びを通して、大竹についての理解や思いを深めることができた。また、伝統の継承や環境への取組、高齢者施設への取組など地域への働きかけを具体的な行動にできた学年が多くあり、社会への貢献、還元につながる取組が見られた。
- ・思考ツールやリフレクションシート等の工夫や活用で、児童生徒の思考の深まりが見られた。ルーブリック評価の活用により児童生徒の見取りについての理解が進んだ。
- ・小中の教職員で共通認識をし研究の重点を意識した探究的な学習の単元開発を進めたことにより、教職員アンケート：学習内容を工夫し、実生活の課題を解決する取組を展開し、児童生徒の「主体的」「協働的」な活動を引き出したとする肯定的評価の数値が高くなった。このことから大竹中学校区で組織的に研究を進めていく基盤ができていると考える。

《課題》

- 生活科や総合的な学習の時間で学んだことを他教科や生活場面で生かしたり、他教科での学びを生活や総合で活用したりできる姿が現れ始めたが、まだ一部に限られるので、今後は、生活科、総合的な学習の時間の学習と他教科、生活場面が双方向の学びとなるよう高めていきたい。
- ルーブリック評価を取り入れ、評価基準の設定にあたっては子供たちとの共有化を図っていったが、教師主導になる面もあるので、子供たちと一緒に目指す姿を共有できるルーブリックを作っていきたい。
- 活動の主体を児童生徒として進める中で資質・能力の伸長を目指してきた。2年間の研究を終えて、先に挙げたように一定の成果が見られた。今後も、活動の主体が児童生徒となるような本物の探究を目指して、教師のファシリテート力を高めていけるようさらに研究を深めていきたい。

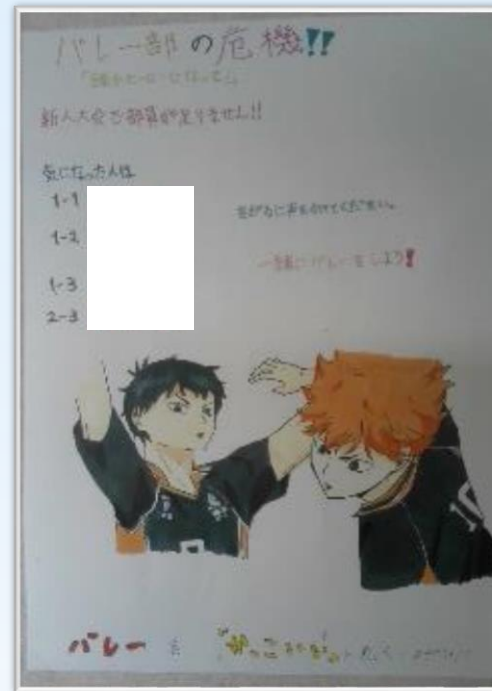
生徒が直面した課題

部員は5人
“このままでは新人大会に
単独で出場できない...”

去年の経験から
思いつく!



ポスターを作ればいい!



小学校での探究学習
の成功体験が
中学校での実生活へ
つながる





大竹市立大竹中学校区